

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	アカデミックスキルズ		
担当者(Instructors)	正岡 元	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

大学で求められる客観的な文章とはどのようなものか、形式や表現を中心に学び、書けるようになることを目的とします。その過程で、読解や要約の方法を学びます。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義と演習が中心ですが、読解・要約、相互評価の過程ではグループワークを通じて、自分の文章を客観視できる機会を設けます。レポートで求められる表現については『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』から毎週課題を出し、翌週小テストを行います。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	大学での学び	大学と高校の学習の違い、大学でのレポート、メールの書き方を学び、実践します。	<input type="checkbox"/>
第2回	レポートの基本	レポートの基本的なルールと文末表現を学び、実践します。	<input type="checkbox"/>
第3回	話し言葉と書き言葉	話し言葉と書き言葉の使い分けを学び、実践します。	<input type="checkbox"/>
第4回	区切り符号と外国語の符号	句読点を始め、レポートで使われる符号について学び、実践します。	<input type="checkbox"/>
第5回	適切な文・呼応表現	主語を述語に注目して、適切な文とは何かを学び、実践します。	<input type="checkbox"/>
第6回	他人の文章と自分の文章	他人の文章と自分の文章を区別する必要性と、引用の分類に応じた引用元の書き方を学び、実践します。	<input type="checkbox"/>
第7回	他人の文章の直接引用と文末表現	他人の文章を引用するということについて学び、実践します。(文末表現、直接引用)	<input type="checkbox"/>
第8回	他人の文章の間接引用	他人の文章を引用するということについて学び、実践します。(短い間接引用)	<input type="checkbox"/>
第9回	要約のための読解	要約をするための読解のポイントについて学び、実践します。	<input type="checkbox"/>
第10回	要約のルール 1	読み取った内容を自分の言葉でまとめる要約の練習をします。	<input type="checkbox"/>
第11回	要約のルール 2	要約した内容を引用する練習をします。	<input type="checkbox"/>
第12回	段落分け	段落を分ける意味と方法を学び、実践します。	<input type="checkbox"/>
第13回	まとまりのある文章	接続表現を使って文と文の関係を明らかにし、まとまりのある文章を書く練習をします。	<input type="checkbox"/>
第14回	参考文献の書き方 1	文献の種類に応じた、参考文献リストに必要な項目について学びます。	<input type="checkbox"/>
第15回	参考文献の書き方 2	用意した文献を参考文献リストにまとめる書き方を練習します。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前に教科書の予習をし、毎週授業冒頭に行われる小テストの勉強をします(2時間程度)。授業後に授業中に提示した課題をします(2時間程度)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

小テストについては授業内で解答例を提示し、課題についてはまとめてフィードバックをして全体で共有できる機会を持ちます。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	レポートを書くルールに従って、客観的な表現で文章が書けるようになる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
■授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
<p>授業内試験は、授業冒頭に行われる小テスト（『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』から出題します）、授業中に提示した課題、およびレポート課題です。</p>				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	鎌田美千子・仁科浩美『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』スリーエーネットワーク	978-4-88319-681-4
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		